

高体連春季大会の大活躍そして 高体連にむけての壮行式

4月末から5月にかけて、道南地区でも高体連春季大会が行われました。遺愛生は今年も大活躍です。

羽球部は団体6連覇、個人女子ダブルスA優勝、B優勝・準優勝、個人シングルスA優勝・準優勝、B優勝・準優勝とパーフェクトな勝利でした。剣道部も団体優勝、個人優勝・準優勝。ソフトテニスも団体優勝、個人ダブルス準優勝・第3位、シングルス準優勝。バレーボール部優勝、新体操団体優勝、個人優勝をはじめ上位独占。バスケットボールは第3位、弓道部団体4位でした。

もうすぐ高体連本番が始まりますが、恒例の壮行式が5月9日に遺愛アリーナで行われました。吹奏楽局の『宝島』演奏をバックに、代表選手たちが堂々と入場しました。チアリーダーの激励のダンス、各部キャプテンによる抱負、そして男の先生方による『花の応援団』のエール、そして選手宣誓がありました。アリーナ全体が盛り上がり、選手の皆さんも改めて全道大会・全国大会にむけて決意を固めたことと思います。

2024年5月13日(月)

